

海外旅行での感染症に

注意

海外では国内にはない感染症も流行しています。
渡航先で感染しないように注意しましょう。

⇒ 予防方法はウラ面へ！

世界各国

- ・腸管出血性大腸菌感染症
- ・麻しん（はしか） ・狂犬病 など

アラビア半島、周辺諸国

マーズ

- ・MERS（中東呼吸器症候群）など

中国

- ・鳥インフルエンザ など

アフリカ地域

- ・エボラ出血熱 など

南米地域、カリブ海諸国、アフリカ地域、中国、東南アジア・南アジア地域

- ・細菌性赤痢、コレラ、腸チフス、パラチフス、A型肝炎
- ・マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカ熱、黄熱 など

デング熱、麻しん（はしか）などは、
海外で感染して日本で発症する事例が
多く報告されています！



旅行前に… 渡航先で流行している感染症をチェック！

【厚生労働省検疫所ホームページ】



渡航先をクリック！

- 厚生労働省検疫所ホームページ
(海外で健康にお過ごしいただくための情報サイト)

<https://www.forth.go.jp/index.html>

- 外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

- 横浜市保健所ホームページ (海外に渡航される方へ)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/abroad.html>

どこから感染するの？

○ 食べ物や水から

腸管出血性大腸菌感染症（O157など）、細菌性赤痢、コレラ、腸チフス、パラチフス、A型肝炎 など

○ 動物から

狂犬病、MERS、鳥インフルエンザ、ハンタウイルス肺症候群 など



○ 蚊から

マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカ熱、黄熱 など

○ ダニから

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ライム病 など

○ 人から

麻しん など

予防するには？

○ 予防接種を受ける。

予防接種がある感染症もあります。

（麻しん、風しん、黄熱、A型・B型肝炎、破傷風、ポリオ、日本脳炎など）

渡航先の流行状況を確認し、医師に相談の上、接種を検討しましょう。

○ 食事の前には、手洗いをする。

○ 生ものは食べない。

生野菜、カットフルーツ、生の魚介類、生肉、しぼりたての乳類などは避け、十分加熱されたものを食べましょう。

○ 生水は口にしない。

水にも注意が必要です。沸騰させた水や、ミネラルウォーターを飲みましょう。

○ 動物やその死骸、排せつ物に不用意に近づかない、触らない。

狂犬病は日本を含む数か所の地域を除き、ほとんどの国で発生しています。

動物（イヌ、その他の哺乳類）に咬まれたり引掻かれたら、すぐに現地の医療機関を受診しましょう。

○ 蚊やダニに刺されないようにする。

なるべく肌を露出せず（長袖、長ズボンを着用する、素足でサンダルをはかない など）、虫よけ剤、蚊取り線香、蚊帳、網戸などを使用しましょう。

○ 素足で歩いたり川や沼に入ったりしない。

感染症の原因となる寄生虫などがいる可能性があります。

もし帰国後に熱、発疹、下痢などの症状があったら？



すぐに医療機関に相談しましょう。感染症の種類によっては周囲の人に感染させるおそれがあるので、事前に必ず電話で①症状 ②渡航先 ③滞在期間 ④動物との接触状況などを伝え、医師の指示に従って受診しましょう。

【お問い合わせ先】 平日8:45～17:00各区の福祉保健センター福祉保健課健康づくり係（市外局番:045）

青葉	978-2438	旭	954-6146	泉	800-2445	磯子	750-2445	神奈川	411-7138
金沢	788-7840	港南	847-8438	港北	540-2362	栄	894-6964	瀬谷	367-5744
都筑	948-2350	鶴見	510-1832	戸塚	866-8426	中	224-8332	西	320-8439
保土ヶ谷	334-6345	緑	930-2357	南	341-1185				

更新:平成31年4月